

## CRO関連事業

CRO関連事業は、当社を中心に展開しています。

モニタリング業務は、抗がん剤、糖尿病、高血圧、中枢神経治療薬試験を中心に各プロジェクトが順調に推移しました。

データマネジメント業務、統計解析業務、メディカルライティング業務、安全性情報業務、登録・進捗管理業務は、既存プロジェクトの遂行および新規プロジェクトの獲得に傾注しました。登録・進捗管理業務は前年同四半期連結累計期間（以下、前期）と比較して売上が微減となりましたが、データマネジメント業務、統計解析業務、安全性情報業務、メディカルライティング業務は前期比で増収となりました。

以上の結果、当社個別の業績は前期比で増収増益となりました。

連結子会社に関して、国内では、派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメイトが事業展開を図り、前期比で増収となりましたが、人財確保のための先行投資的費用が発生したため減益となりました。

ジェネリック向けCRO業務と薬剤分析業務を展開する株式会社SCGは、新規受注獲得に傾注しました。

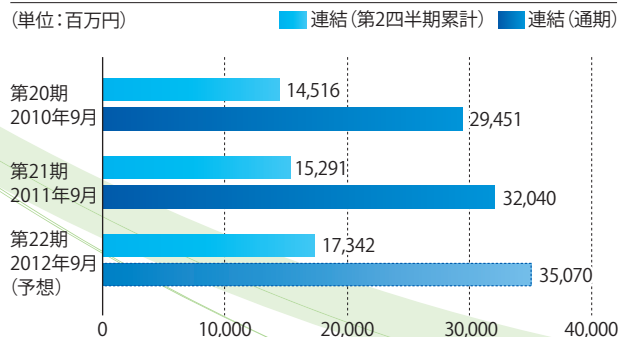
BPOサービスを展開するEMS株式会社は、受注案件の遂行と中国グループ会社への外注を遂行する体制を整備しています。

海外では、当社のグローバルリサーチカンパニーと連携して益新国際医薬科技有限公司を中心に中国その他アジア・パシフィック地域における臨床試験サービスをより実効性のある体制に整備を図るとともに、アジアの受託案件の遂行と新規受託案件の獲得に傾注し事業拡大を目指した結果、上海日新医薬発展有限公司は前期比

## 業績の推移

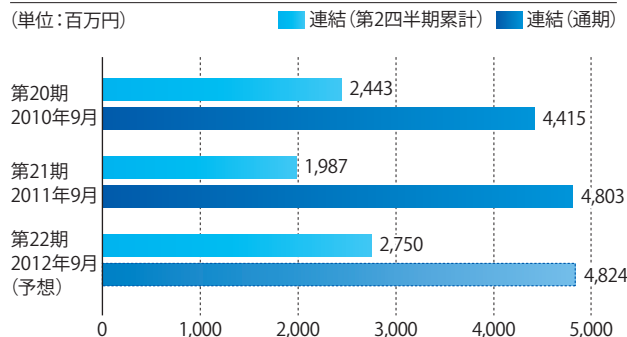
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



で増収となり、黒字化となりました。EPSシンガポールも前期と比較して増収増益となり、グループ連携効果が出てきています。

中国ビジネスを推進している益新（中国）有限公司は、中国事業本部と連携して創薬業務、ヘルスケア商材を扱うヘルスケア業務の稼働準備を行っています。また、その子会社である益新健康科技服務（蘇州）有限公司を設立し、受託体制を整備しています。

非臨床業務を展開するエルエスジー株式会社グループは、計画した出荷が順調に進み、前期比で増収となりましたが、コスト増などにより減益となりました。

以上の結果、CRO関連事業の連結売上高は11,342百万円（前期比13.6%増）、連結営業利益は1,961百万円（同27.4%増）と増収増益となりました。

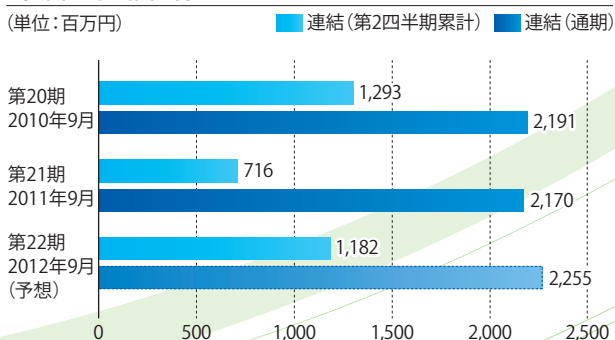
## SMO関連事業

SMO関連事業は、株式会社イーピーメントグループと全面顧問股份有限公司（台湾台北市）が展開しています。

株式会社イーピーメントは、新規受注の獲得の向上と受託案件の遂行の効率化を図り、前期比で大幅な増収となりましたが、今後の業容拡大に向けて人財確保などの先行投資を行ったことにより減益となりました。全面顧問股份有限公司は当社グループと協業しながら新規案件の獲得に傾注しました。その結果、SMO関連事業の連結売上高は2,919百万円（前期比28.0%増）と大幅な増収となりましたが、連結営業利益は357百万円（同17.0%減）と減益となりました。

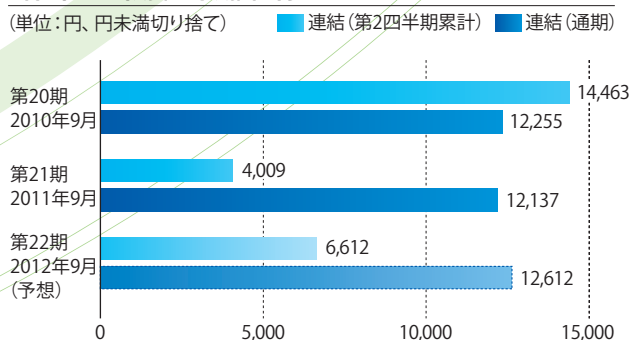
### 当期（四半期）純利益

（単位：百万円）



### 1株当たり当期（四半期）純利益

（単位：円、円未満切り捨て）



### CSO関連事業

CSO関連事業は、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインが展開しています。株式会社ファーマネットワークは引き続き受注体制を整備しながら受注案件の確実な遂行と新規案件の獲得に傾注した結果、前期比で増収となり、MRの採用費が下期になったために大幅な増益となりました。株式会社メディカルラインは、医薬・医療・ヘルスケアの業界向けDI業務とヘルスケアサービス業務を中心に新規受注獲得に傾注し、前期と比較して増収となりました。その結果、CSO関連事業の連結売上高は3,077百万円（前期比25.8%増）と増収となり、連結営業利益は413百万円（同1,655.3%増）と大幅な増益となりました。

### 医薬・医療系IT事業

医薬・医療系IT関連事業は、主にイートライアル株式会社が展開しています。イートライアル株式会社は、EDCを中心に新規案件の受注獲得を推進し、前期比で増収とな

りましたが、人件費などの増加により減益となりました。往來軟件（北京）有限公司は、医薬・医療系ITサービスに事業転換を図りながら経費削減を進めています。なお、当事業において主力であったオーライソフトウェア株式会社および青島恒遠天地軟件技術有限公司は、前年第3四半期において事業再編を行い、当社グループの連結対象外としました。その結果、医薬・医療系IT関連事業の連結売上高は265百万円（前期比66.5%減）と大幅な減収となりましたが、連結営業利益は7百万円と黒字化となりました。

上記のセグメントごとの連結売上高および連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しています。それを控除した結果、当連結売上高は17,342百万円（前期比13.4%増）と増収となり、連結営業利益は2,750百万円（同38.4%増）、連結経常利益は2,631百万円（同32.0%増）、連結四半期純利益は1,182百万円（同64.9%増）と大幅な増益となりました。